

2025年7月1日
株式会社すかいらくホールディングス

国際会計基準の採用と「のれん」の考え方

2025年6月30日付の日本経済新聞朝刊において、「25年目の会計国際化」と題した記事の中で、M&A（合併・買収）に関する会計処理と当社が採用している国際会計基準の事例が紹介されました。

当社は、投資家がグローバルな目線で当社の経営実態を把握できるよう、2014年の東証一部再上場時より国際会計基準（IFRS）を採用しております。

のれんについては、有価証券報告書にて客観性・透明性の高い情報開示を行っており、記事に記載のとおり当社の安定したキャッシュフロー創出力によりこれまでのれん減損はございません。また、「資さん」等の買収で発生したのれんについても、各業態とも十分なキャッシュフローを創出しており、現時点でのれん減損の懸念はございません。

当社は、今後とも中期経営計画に基づき M&A を適切に検討・実行し、企業価値の向上に邁進するとともに、投資家の皆様がのれんの状況を含め当社の価値を正しくご判断いただけるよう、引き続き積極的かつ客観性・透明性の高い情報開示に努めてまいります。

（ご参考）

[最新の有価証券報告書はこちら](#)

[最新の決算説明会資料はこちら](#)

[統合報告書はこちら](#)